

め だ か



七夕

ごせつく 五節句 その2

むかしから季節のかわり目をむかえると、節句という行事がおこなわれてきました。
節句ごとに異なった風習があり、なかでも「五節句」と呼ばれる日は、健康や作物の豊作を祈るための特別な日とされてきました。

七夕の節句：7月7日（旧暦では8月29日になります）

★どんな行事なの？

そのむかし、日本には女性が神さまのために、水辺にたてた棚づくりの小屋で機を織る（布をつくる）という風習がありました。

また、中国では年に一度七月七日の夜に牛飼いの彦星と、美しい布を織る織姫が会える、という伝説があり、それにあやかってぬいものが上手になるようねがう風習がありました。

それが日本に伝わり、ふたつのお話がひとつになって、七月七日の夕がたを「たなばた」というようになったそうです。



彦星さんと織姫さん、
ちゃんと会えるといいね！

七夕のかざりってどんな意味？

- ① 折鶴：長生きをねがう
- ② くずかご：ものを大事にするように
- ③ ふき流し：ぬいものが上手になりますように
- ④ 網かざり：大漁豊作をねがう
- ⑤ 輪かざり：夢やねがいがつながりますように
- ⑥ ちょうちん：未来をあかるく照らす

たなばたさま

ささの葉さらさら のきばにゆれる
お星さまきらきら きんぎんすなご

※
ごしきのたんざく わたしがかいた
おほしさまきらきら そらからみてる

※ねがいごとを書くために細長く切った5色の紙



スタッフは見た！しぜんの事件簿

じけんぼ

6月9日、清水坂公園にあるビオラの花壇にツマグロヒョウモンの幼虫が7匹と、たくさんいました。からだはツヤのない黒色で赤いすじがあり、めいた痛そうなたゲトゲもたくさんあります（触っても痛くはありません）。成虫はあざやかなヒョウ柄のチョウで、夏のあいだよくみかけることができます。



幼虫：2.7cm くらい

オス



メス



修了生日記



6月5日、アメリカザリガニによる食害で自然園のとんぼ池の水生植物が減少しているため、水生植物のエビモと水辺に生えるタコノアシの植栽を行いました。メダカの産卵場所やヤゴの羽化をする足場として利用されることを期待したいです。活動に興味のある方は自然ふれあい情報館までお問い合わせください。

※修了生とは、北区環境リーダー養成講座に参加された方の総称です。

イベント情報

詳しくは施設のブログ、ホームページをご確認ください。

みどりと環境の情報館（エコベルデ）

エコベルデみどりの教室

草むらのバッタやチョウを観察しよう

エコベルデの屋外ガーデンにはどんな昆虫が暮らしているかな？探して・つかまえて・じっくり観察してみましょう。夏休みの自由研究にもオススメです。

日時：7月26日（土）

10：00～11：30

会場：みどりと環境の情報館（エコベルデ）

対象：区内在住、在勤、在学の5才以上の子どもとその保護者

定員：10組（抽選）

費用：200円

申し込み：往復はがき、または「エコベルデブログ」内にある申込フォームよりお申し込み。

※はがきの記入内容：住所、電話番号、参加者の氏名、年齢（在勤、在学の方は勤務先、学校名）

申し込み締切：7月15日（火）必着

シーグラスアクセサリーづくり

～海の日には海のことを考えよう～

シーグラスとは海岸に流れ着いたガラスのかげらのこと。海の日には海のことを思いながら、シーグラスを使ったアクセサリーを作ります。

日時：7月21日（月・祝）

10：00～15：00

会場：みどりと環境の情報館（エコベルデ）

対象：区内在住、在勤、在学の5才以上（小学3年生以下は保護者同伴）

定員：先着各回4人定員制

①10:00～ ②11:00～ ③12:30～

④13:30～ ⑤14:30～

※9:30受付開始

費用：800円 ※追加アクセサリーは別途

講師：栗山夏実（アクセサリー作家）

申し込み：申し込み不要。

直接会場へお越しください。



お問い合わせ：みどりと環境の情報館（エコベルデ）

〒114-0003 北区豊島5-6-1 豊島五丁目遊び場内

TEL：03-3913-8340

FAX：03-5902-3887

※月曜・火曜休館（祝日の時は翌日）

ブログ：<https://ecoverde.exblog.jp>



エコベルデブログ